

# 首都圏在住女子大学生における場面別形容詞活用体系-3

齋藤孝滋 編

新井 麻未 甲斐麻里子 古賀麻里子 海老根舞亜  
古川 晴子 中村 衣里 日野 陽子 沈 ハナ

## I 総論

齋藤孝滋

### 1. はじめに

フェリス女学院大学の学生は、「知的な言語使用者層の中で、最も新しい言語パターンに敏感で、自らその使用者となり、言語においてもファッションリーダーとして、社会に少なからぬ影響を与え得る位相にあ」り、「その言語を記録し、体系を明らかにすることは、規範と異なる新しい言語パターンを見出し、その出現の要因を推定し、将来の言語変化を予測することにつながり、また、言語切り替えのパターンを明らかにすることは、言語パターンの位相的特徴と、彼女たちの言語行動そのものを明らかにすることにつながる」と、考えられる（齋藤孝滋編、秋田ちあき他 2007）。

### 2. 目的

本稿は、前節で述べた研究意義のもと、フェリス女学院大学の学生を対象として、対照的な二つの異なる場面（テレビ場面とくつろぎ場面）設定において、運用される形容詞活用体系と、運用パターンを明らかにすることを目的とする。

### 3. 方法

#### 3・1. 調査方法

場面設定：設定場面は次のとおりである。

TV 場面：「全国放送の TV で話す場合」  
くつろぎ場面：「同年代・同性の親しい友人と、自分の部屋でくつろいで話をする場合」

収録場所：フェリス女学院大学緑園キャンパス図書館マルチメディアルーム

収録年月日時：2007年5月7日14日21日

収録方法：ヘッドフォン付きマイク（すまいるマルチメディアヘッドセット Y-1）により、PC の音声分析ソフト『音声工房 SP4WINpro』に直接録音入力した。

調査項目：調査語「涼しい・低い・良い（いい）・黒い・遠い・高い（6語）」

調査表現：（例、「低い」）「低い・低いとき・低いだろう（低かろう）・低いの・低ければ（低かったら）・低くない・低くなる・低くて・低かった・低っ（10表現）」

\* 話者は、各調査表現について、設定場面を想起しつつ、該当する使用表現を各1回発話する（ただし、同一調査表現について複数の表現パターンがある場合は、すべて発話する）こととする。

話者：話者は、フェリス女学院大学2007年度前期授業「ことばと記号のコミュニケーション」受講の女子大学

生である。

話者の分類：暫定的に、本人の出身地及び言語形成期、育てた人の出身地により行った。

○○話者：出身地及び言語形成期が○○都県で、話者を育てた人の中に1名は○○出身地がある場合。

準○○話者：言語形成期が複数である場合。または話者を育てた人の中に全く○○出身者がいない場合等。

### 3・2. 活用体系の設定法と活用体系表

本研究における形容詞活用体系の体系設定、及び言語資料表記は、知的意味の弁別レベルである音韻レベルで行うこととする<sup>2</sup>。

図1、図2は、後述の沈ハナ氏担当の「8. 韓国釜山話者」における、テレビ場面とくつろぎ場面における項目「良いとき」に該当する音声のサウンドスペクトログラムの分析結果である<sup>3</sup>が、各担当者は、音声特徴を、聴覚と共に、サウンドスペクトログラムの分析結果を視覚的にも確認しつつ、音韻表記を行った。

各話者の形容詞活用体系設定は、語幹末尾母音 (/i/：涼しい、/u/：低い、/jo/～(/'i/)：良い、/o/：黒い、/oo/：遠い、/a/：高い) と活用語尾のパターンにより行う。その際、形容詞の種類、活用形の種類とも一箇所でも他の活用形と異なる部分があれば、統合せずに別種として設定することとする。なお、語幹を二つ持つ形容詞については、優勢な語幹の末尾母音により位置づけることとする<sup>4</sup>。

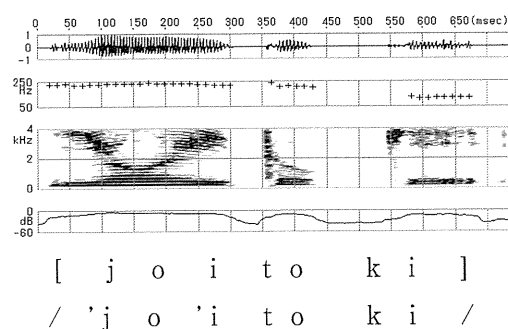


図1. 韓国釜山話者における「良い時」のサウンドスペクトログラムの分析結果—TV 場面—

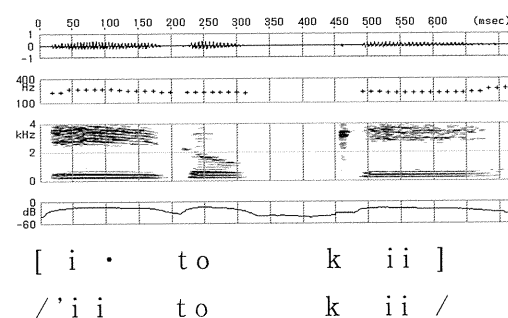


図2. 韓国釜山話者における「良い時」のサウンドスペクトログラムの分析結果—くつろぎ場面—

## 4. 標準語の形容詞活用体系とされる体系

本稿で対象とする形容詞について、日本語教育学会編（1987）等により標準語の形容詞活用体系とされる体系を設定すると、次頁表（齋藤孝滋編、三上遥香他 2010）のようになる。

表. 標準語の形容詞活用体系とされる体系

(齋藤孝滋作成)

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	ku	kere	kaQ	karo	
2	低い	hiku	'i	ku	kere	kaQ	karo	
3	良い	'jo	-	ku	kere	kaQ	karo	
		'i	i	-	-	-	-	
4	黒い	kuro	'i	ku	kere	kaQ	karo	too'i (遠い)
5	高い	taka	'i	ku	kere	kaQ	karo	
主な接続形式			{φ} (言い切り)	na'i (ない)	ba (ば)	ta (た)	o (う)	
			toki (とき)	naru (なる)				
			no (の)	te (て)				
			daroo ~ desjoo (だろう~ でしょう)					

この活用体系表は、本稿で明らかになったフェリス女学院大学の学生の活用体系をみる上で、(現在の標準語として適格か否かは別として)もの差しとして用いることができよう。

## 5. まとめ

ここでは、本稿であきらかとなった場面別形容詞活用体系の特徴を、齋藤孝滋編(2007)で見出された特徴をもととしながら、まとめることとする。

- ① 従来、標準語の活用語尾とみなされてきた、接続形式 /o/ 「う」を伴う活用語尾 /karo/ (例: /taka/-/karo/-/o/ 「高かろう」) は、両場面とも全く用いられない (全話者)。
- ② 従来、標準語の活用語尾とみなさ

れてきた、接続形式 /ba/ 「ば」を伴う活用語尾 /kere/ (例: /taka/-/kere/-/ba/ 「高ければ」) は、接続形式 /tara/ 「たら」を伴う活用語尾 /kaQ/ にとってかわられ、用いられなくなっている場合がある (準千葉話者・山口話者・韓国釜山話者)。

- ③ 従来、標準語の語幹とされていた「良い」の語幹は、/jo/ と /i/ の2種類であり、/i/ は {φ} (言い切り)、/toki/、/no/ 等の接続形式が接続する場合に現れるとされてきたが、特にテレビ場面において、語幹が /jo/ に統一される場合がある (福島話者・韓国釜山話者)。
- ④ 長音を伴った活用語尾 /ii/ が現れる場合がある (例: /too/-/ii/ 遠い) (両場面において神奈川話者)。

- ⑤ 語中や末尾に長音を伴う接続形式がみられる場合がある (/tokii/: 韓国釜山話者。齋藤孝滋編 (2007) では、準東京話者・神奈川話者(1)・栃木話者・静岡話者にみとめられている)。
- ⑥ くつろぎ場面において、すべてに話者に程度の差はあるものの、活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。ただし基本形活用語尾が長音の場合 (/suzusi/-/i/ 涼しい)、語幹が1拍の場合 (/jo/ 良い)、それら両方の要素を持つ場合 (/i/-/i/ 良い) は、感嘆形活用語尾 /Q/ が避けられる場合がある<sup>5</sup> (神奈川話者 (1)、準千葉話者・福島話者・福岡話者)。

## 6. 今後の展望

今後は、さらに分析を進めながら、継続的にデータを収集し、多人数資料を対象として変容のメカニズムを解明し、総合的に将来の変容パターンを推定する研究レベルへと発展させる予定である。

### 【注】

- 1 ここでは、フェリス女学院大学の通学圏内 (神奈川・東京の首都圏近県) の居住家屋が対象となる。
- 2 語中ガ行音は、①破裂音 [g] のみ、②鼻音 [ŋ] のみ、③ [g] と [ŋ] の両方が現れる話者がみとめられるが、本資料においては、出現環境が限定されており、厳密な音韻論的解釈をすることは困難であることと、本稿の論旨に影響を与えないと考えられることから、音韻論的カタカナ表記では便宜的に①②③ともに「ガ」で記すこととした。また、アクセントについても、

表記を省略した。

- 3 本図は、音声分析ソフト『SUGI SPEECH ANALYZER』(アニモ社)による。
- 4 具体的分析方法は、齋藤孝滋 (2006) に準じた。
- 5 その原因の音声学的・音韻論的メカニズムについては、別稿に譲る。

### 文献

- 石井直樹 2002 『音声工房を用いた音声処理入門』コロナ社
- 勝田耕起編 2006 『言語生活メカニズムの解明と教育法』DTP出版
- 齋藤孝滋 2006 「岩手方言における形容詞の特徴—活用体系と音声文法の視点から—」『フェリス女学院大学文学部紀要』41
- 齋藤孝滋 2008 『正しいか? 誤りか? それは問題じゃない 話しことばのフィールドワーク』フェリスブックス13
- 齋藤孝滋編 1999 『地域言語調査研究法』おうふう
- 齋藤孝滋編 2003 『現代女子大学生における談話と文法』DTP出版
- 齋藤孝滋編 2005 『大学生の日常言語生活に関する記述的・社会言語学的、言語教育学的研究』DTP出版
- 齋藤孝滋編、秋田ちあき・田窪彩・藤田理恵・長谷川真美・杉野友佳・小寺麻菜美・小松由衣・永倉のどか・松澤翔子 2007 「首都圏在住女子大学生における場面別形容詞活用体系1 東日本話者編 (1)」『フェリス女学院大学 文学部 多文化・共生コミュニケーション論叢』2
- 齋藤孝滋編 2008 『日本語・日本文化の発信・受容・変容に関する基礎的研究』DTP出版
- 齋藤孝滋編、三上遥香・水上紗耶加・太田慶・

石川紫・大竹麻莉乃・宮腰まりえ・若山実紀・  
小笠原秀美・石浜英里奈・三次阿未・長井  
友香 2010 「首都圏在住女子大学生における  
場面別形容詞活用体系-2」『フェリス女学

院大学文学部紀要』45  
日本語教育学会編 1987 『日本語教育事典』大  
修館書店  
服部四郎 1960 『言語学の方法』岩波書店

## II 各論

### 1. 神奈川県話者 (1)

新井麻未

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 話者プロフィール  | /taka'i/              |
| 1.1 居住経験   | (高い)                  |
| 1988 年生  | 2.1.2 /no/ が接続する場合    |
| 0 ~ 19 歳 神奈川県横浜市   | /suzusiino/           |
| 1.2 育てた人の出身地等  | (涼しいの)                |
| 父：神奈川県横浜市  | /hiku'ino/            |
| 母：埼玉県春日部市  | (低いの)                 |
| 1.3 言語教育にかかわる特筆事項  | /jo'ino/              |
| 特になし   | (良いの)                 |
|  | /kuro'ino/            |
| 2. TV 場面における形容詞活用体系  | (黒いの)                 |
| 2.1 第 1 活用形  | /too'iino/            |
| 第 1 活用形は、基本形 ( { φ } 接続：言<br>い切り)、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助<br>動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合<br>の活用形である。 | (遠いの)                 |
|  | /taka'ino/            |
|  | (高いの)                 |
| 2.1.1 基本形の場合   | 2.1.3 /daroo/ が接続する場合 |
| /suzusii/  | /suzusiidaroo/        |
| (涼しい)  | (涼しいだろう)              |
| /hiku'i/   | /hiku'idaroo/         |
| (低い)   | (低いだろう)               |
| /ii/   | /jo'idaroo/           |
| (良い)   | (良いだろう)               |
| /kuro'i/   | /kuro'idaroo/         |
| (黒い)   | (黒いだろう)               |
| /too'ii/   | /too'iidaroo/         |
| (遠い)   | (遠いだろう)               |
|  | /taka'idaroo/         |

(高いだろう)

## 2.2 第2活用形

第2活用形は、体言 /toki/ 「とき」が接続する場合の活用形である。

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'jo'itoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

## 2.3 第3活用形

第3活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/'jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

## 2.4 第4活用形

第4活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

## 2.5 第5活用形

第5活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

### 2.5.1 /nai/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

### 2.5.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

2.5.3 /te/ が接続する場合

/suzsikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

表 1. TV 場面における神奈川話者 (1) の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	i	kere	kaQ	ku	
2	低い	hiku	i	i	kere	kaQ	ku	
3	良い	jō i	— i	i —	kere —	kaQ —	ku —	
4	黒い	kuro	i	i	kere	kaQ	ku	
5	遠い	too	ii	i	kere	kaQ	ku	
6	高い	taka	i	i	kere	kaQ	ku	
主な接続形式			{φ} no daroo	toki	ba	ta	na'i naru te	

3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ({φ} 接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/'ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'iitoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

### 3.1.3 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低いだろう)

/'iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

## 3.2 第2活用形

第2活用形は、準体助詞 /no/ が接続する場合の活用形である。

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/'iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'iino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

## 3.3 第3活用形

第3活用形は、条件の接続助詞 /tara/ 「たら」、助動詞 /ta/ 「た」 が接続する場合の

活用形である。

### 3.3.1 /tara/ が接続する場合

/suzusikaQtara/

(涼しかったら)

/hikukaQtara/

(低かったら)

/'jokaQtara/

(良かったら)

/kurokaQtara/

(黒かったら)

/tookaQtara/

(遠かったら)

/takakaQtara/

(高かったら)

### 3.3.2 /ta/ が接続する場合

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

## 3.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」 が接続する場合の活用である。

### 3.4.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)



/ʔokunaʔi/

(良くない)

/kurokunaʔi/

(黒くない)

/tookunaʔi/

(遠くない)

/takakunaʔi/

(高くない)

### 3.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/ʔokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 3.5 第5活用形

第5活用形は、接続助詞 /te/ 「て」 が接続する場合の活用形である。

/suzusikuQte/

(涼しくて)

/hikukuQte/

(低くて)

/ʔokuQte/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

### 3.6 第6活用形

第6活用形は、感嘆形 (ʔϕ) 接続：言い切り) の場合の活用形である。

/suzusiQ/

(涼しっ)

/hikuQ/

(低っ)

/kuroQ/

(黒っ)

/tooQ/

(遠っ)

/takaQ/

(高っ)

なお、以上の調査語以外にも、次のような語の感嘆形がみられる。

/samuQ/

(寒っ)

/acuQ/

(暑っ)

/karaQ/

(辛っ)

/ʔumaQ/

(美味 (うま) っ)

/nigaQ/

(苦っ)

/amaQ

(甘っ)

/mazuQ

(不味 (まず) っ)

表 2. くつろぎ場面における神奈川話者 (1) の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾						所属語
			1	2	3	4	5	6	
1	涼しい	suzusi	i	i	kaQ	ku	kuQ	—	
2	低い	hiku	'i	'i	kaQ	ku	kuQ	Q	
3	良い	'jo	—	—	kaQ	ku	kuQ	—	
		'i	i	i	—	—	—	—	
4	黒い	kuro	'i	'i	kaQ	ku	ku	Q	
5	遠い	too	'i	'ii	kaQ	ku	ku	Q	
6	高い	taka	'i	'i	kaQ	ku	ku	Q	
主な接続形式			{φ} toki daroo	no	tara ta	na'i naru	te	{φ}感嘆	

#### 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は両場面で6種類である。  
活用形の種類は、TV場面で5種類、くつろぎ場面で6種類である。  
語幹は、「良い」においては両場面とも

2種類である。

両場面において、「遠い」に活用語尾 /'ii/ がみられる。

くつろぎ場面の一部の形容詞に、第6活用形の感嘆形がみられる。

## 2. 神奈川話者 (2)

甲斐麻里子

### 1. 話者プロフィール

#### 1.1 居住経験

1987年生

0～2歳 神奈川県 川崎市

2～4歳 神奈川県 横浜市

4～8歳 愛知県 名古屋市

8～現在 神奈川県 横浜市

#### 1.2 育てた人の出身地など

父：熊本県熊本市

母：神奈川県三浦市

#### 1.3 言語教育に関わる特筆事項

特になし

### 2. TV場面における形容詞活用体系

#### 2.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ({φ}接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 2.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/'ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)	/hikukereba/
/too'i/	(低ければ)
(遠い)	/'jokereba/
/taka'i/	(良ければ)
(高い)	/kurokereba/

### 2.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/	/tookereba/
(涼しいとき)	(遠いければ)
/hiku'itoki/	/takakereba/
(低いとき)	(高いければ)
/'iitoki/	

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

### 2.1.3 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/	/suzusikaQta/
(涼しいだろう)	(涼しかった)
/hiku'idaroo/	/hikukaQta/
(低いだろう)	(低かった)
/'iidaroo/	/'jokaQta/
(良いだろう)	(良かった)
/kuro'idaroo/	/kurokaQta/
(黒いだろう)	(黒かった)
/too'idaroo/	/tookaQta/
(遠いだろう)	(遠かった)
/taka'idaroo/	/takakaQta/
(高いだろう)	(高かった)

## 2.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/  
(涼しければ)

## 2.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/  
(涼しかった)  
/hikukaQta/  
(低かった)  
/'jokaQta/  
(良かった)

/kurokaQta/  
(黒かった)  
/tookaQta/  
(遠かった)  
/takakaQta/  
(高かった)

## 2.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続動詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用形である。

### 2.4.1 /nai/ が接続する場合

/suzusikuna'i/  
(涼しくない)  
/hikukuna'i/  
(低くない)  
/'jokuna'i/  
(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

2.4.2 /naru/ が接続

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

2.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

表 1. TV 場面における神奈川話者 (2) の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaQ	ku	
2	低い	hiku	'i	kere	kaQ	ku	
3	良い	'jo 'i	—	kere	kaQ	ku	
			i	—	—	—	
4	黒い	kuro	'i	kere	kaQ	ku	too'i (遠い)
5	高い	taka	'i	kere	kaQ	ku	
主な接続形式			{φ} toki daroo	ba	ta	na'i naru te	

3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ({φ} 接続: 言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/'ii/

(良い)

/kuro'i/ (低いだろう)  
 (黒い) /iidaroo/  
 /too'i/ (良いだろう)  
 (遠い) /kuro'idaroo/  
 /taka'i/ (黒いだろう)  
 (高い) /too'idaroo/

### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/ (涼しいとき) /taka'idaroo/  
 (高いだろう)

/hiku'itoki/ (低いとき)

/iitoki/ (良いとき)

/kuro'itoki/ (黒いとき)

/too'itoki/ (遠いとき)

/taka'itoki/ (高いとき)

### 3.1.3 /no/ を接続する場合

/suzusiino/ (涼しいの)

/hiku'ino/ (低いの)

/iino/ (良いの)

/kuro'ino/ (黒いの)

/too'ino/ (遠いの)

/taka'ino/ (高いの)

### 3.1.4 /daroo/ を接続する場合

/suzusiidaroo/ (涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低いだろう)

/iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

## 3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠いければ)

/takakereba/

(高いければ)

## 3.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

### 3.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続動詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用形である。

#### 3.4.1 /nai/ が接続する場合

/suzusikunaï/

(涼しくない)

/hikukunaï/

(低くない)

/'jokunaï/

(良くない)

/kurokunaï/

(黒くない)

/tookunaï/

(遠くない)

/takakunaï/

(高くない)

#### 3.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

#### 3.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

### 3.5 第5活用形

第5活用形は、感嘆形 (| φ | 接続：言い切り) の場合の活用形である。

/suzusiQ/

(涼しっ)

/hikuQ/

(低っ)

/'jo'iQ/

(良いっ)

/kuroQ/

(黒っ)

/to'oQ/

(遠っ)

/takaQ/

(高っ)

なお、以上の調査語以外にも、次のような語の感嘆形がみられる。

/samuQ/

(寒っ)

/'acuQ/

(暑っ)

/karaQ/

(辛っ)

/'umaQ/

(美味(うま)っ)

/'amaQ/

(甘っ)  
/mazuQ/

(不味(まず)っ)

表 2. くつろぎ場面における神奈川話者(2)の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaQ	ku	Q	
2	低い	hiku	'i	kere	kaQ	ku	Q	
3	良い	'jo 'i	—	kere	kaQ	ku	'iQ	
			i	—	—	—	—	
4	黒い	kuro	'i	kere	kaQ	ku	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	'i	kere	kaQ	ku	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	ta	na'i naru te	{φ}感嘆	

4. 形容詞活用体系の場面別傾向  
形容詞の種類は両場面でも5種類である。  
活用形の種類は、TV 場面で4種類、く  
つろぎ場面で5種類である。

語幹は、「良い」においては両場面とも  
2種類である。  
くつろぎ場面のすべての形容詞に、第5  
活用形の感嘆形がみられる。

### 3. 準千葉話者

古賀麻里子

1. 話者プロフィール /suzusii/  
1.1 居住経験 (涼しい)  
1988年生 /hiku'i/  
0～18歳 千葉県松戸市 (低い)  
1.2 育てた人の出身地等 /'ii/  
父：東京都杉並区 母：山形県尾花沢市 (良い)  
1.3 言語教育にかかわる特筆事項 /kuro'i/  
特になし (黒い)  
(too'i/  
(遠い)  
2. TV 場面における形容詞活用体系  
2.1 第1活用形 /taka'i/  
第1活用形は、基本形({φ}接続：言 (高い)  
い切り) の場合の活用形である。 2.2 第2活用形

第2活用形は、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /desjoo/ 「でしょう」が接続する場合の活用形である。

#### 2.2.1 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'jo'itoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

#### 2.2.2 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/'jo'ino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

#### 2.2.3 /desjoo/ が接続する場合

/suzusiidesjoo/

(涼しいでしょう)

/hiku'idesjoo/

(低いでしょう)

/'jo'idesjoo/

(良いでしょう)

/kuro'idesjoo/

(黒いでしょう)

/too'idesjoo/

(遠いでしょう)

/taka'idesjoo/

(高いでしょう)

### 2.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

### 2.4 第4活用形

第4活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/'jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/



(高ければ)  
 2.5 第5活用形  
 第5活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/  
 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞  
 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

2.5.1 /na'i/ が接続する場合

/suzsikuna'i/  
 (涼しくない)

/hikukuna'i/  
 (低くない)

/jokuna'i/  
 (良くない)

/kurokuna'i/  
 (黒くない)

/tookuna'i/  
 (遠くない)

/takakuna'i/  
 (高くない)

2.5.2 /naru/ が接続する場合

/suzsikunaru/  
 (涼しくなる)

/hikukunaru/  
 (低くなる)

(低くなる)

/jokunaru/  
 (良くなる)

/kurokunaru/  
 (黒くなる)

/tookunaru/  
 (遠くなる)

/takakunaru/  
 (高くなる)

2.5.3 /te/ が接続する場合

/suzsikute/  
 (涼しくて)

/hikukute/  
 (低くて)

/jokute/  
 (良くて)

/kurokute/  
 (黒くて)

/tookute/  
 (遠くて)

/takakute/  
 (高くて)

表 1. TV 場面における準千葉話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	i	kaQ	kere	ku	
2	低い	hiku	'i	'i	kaQ	kere	ku	
3	良い	'jo i	— i	'i —	kaQ —	kere —	ku —	
4	黒い	kuro	'i	'i	kaQ	kere	ku	too'i (遠い)
5	高い	taka	'i	'i	kaQ	kere	ku	
主な接続形式			\phi	toki no desjoo	ta	ba	na'i naru te	

### 3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

#### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形（{φ}接続：言い切り）、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taki/

(高い)

##### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/iitoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taki'itoki/

(高いとき)

##### 3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taki'ino/

(高いの)

##### 3.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低いだろう)

/iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taki'idaroo/

(高いだろう)

#### 3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /tara/ 「たら」、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

##### 3.2.1 /tara/ が接続する場合

/suzusikaQtara/

(涼しかったら)

/hikukaQtara/

(低かったら)

/jokaQtara/

(良かったら)

/kurokaQtara/

(黒かったら)

/tookaQtara/ (遠かったら)	(涼しくなる)
/takakaQtara/ (高かったら)	/hikukunaru/ (低くなる)
3.2.2 /ta/ が接続する場合	/jokunaru/ (良くなる)
/suzusikaQta/ (涼しかった)	/kurokunaru/ (黒くなる)
/hikukaQta/ (低かった)	/tookunaru/ (遠くなる)
/jokaQta/ (良かった)	/takakunaru/ (高くなる)
/kurokaQta/ (黒かった)	3.4 第4活用形
/tookaQta/ (遠かった)	第4活用形は、接続動詞 /te/ 「て」 が 接続する場合の活用形である。
/takakaQta/ (高かった)	/suzusikuQte/ (涼しくて)
3.3 第3活用形	/hikukute/ (低くて)
第3活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」 が接続する 場合の活用である。	/jokuQte/ (良くて)
3.3.1 /nai/ が接続する場合	/kurokuQte/ (黒くて)
/suzusikuna'i/ (涼しくない)	/tookute/ (遠くて)
/hikukuna'i/ (低くない)	/takakuQte/ (高くて)
/jokuna'i/ (良くない)	3.5 第5活用形
/kurokuna'i/ (黒くない)	第5活用形は、感嘆形 (  φ   接続：言 い切り) の場合の活用形である。
/tookuna'i/ (遠くない)	/hikuQ/ (低っ)
/takakuna'i/ (高くない)	/kuroQ/ (黒っ)
3.3.2 /naru/ が接続する場合	/tooQ/ (遠っ)
/suzusikunaru/ (涼しくなる)	/takaQ/ (高く)

(高っ) /umaQ/  
 (美味 (うま) っ)  
 なお、以上の調査語以外にも、次のよう  
 な語の感嘆形がみられる。  
 /nigaQ/  
 (苦っ)  
 /samuQ/  
 (寒っ)  
 /amaQ/  
 (甘っ)  
 /acuQ/  
 (暑っ)  
 /mazuQ/  
 (不味 (まず) っ)  
 /karaQ/  
 (辛っ)

表 2. くつろぎ場面における準千葉話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	kaQ	ku	kuQ	—	
2	低い	hiku	i	kaQ	ku	ku	Q	
3	良い	jo i	—	kaQ	ku	kuQ	—	
			i	—	—	—	—	
4	黒い	kuro	i	kaQ	ku	kuQ	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kaQ	ku	kuQ	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	tara ta	na'i naru	te	{φ}感嘆	

4. 形容詞活用体系の場面別傾向  
 形容詞の種類は両場面で5種類である。  
 活用形の種類は、両場面で5種類である。  
 両場面において、「良い」は語幹を2種類持つ。

接続形式 /ba/ を伴う活用語尾 /kere/ は TV 場面のみ、感嘆形活用語尾 /Q/ はくつろぎ場面の一部の形容詞にのみみられる。

#### 4. 茨城話者

海老根舞亜

##### 1. プロフィール

###### 1.1 居住経験

1988 年生

0～18 歳 茨城県水戸市

18～ 神奈川県藤沢市

###### 1.2 育ててくれた人の出身地等

父：茨城県 母：茨城県日立市

###### 1.3 言語に関する特筆事項

特になし

## 2. TV 場面における形容詞活用体系

### 2.1 第1活用形

第1活用形は、基本形（{φ}接続：言い切り）、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

#### 2.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

#### 2.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'iitoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

#### 2.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/'iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

#### 2.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低くいだろう)

/'iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/to'o'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

## 2.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/'jokaQtara/

(良かったら)

/kurokereba/

(黒ければ)

/to'okereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

### 2.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

### 2.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

#### 2.4.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

#### 2.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

#### 2.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

表 1. TV 場面における茨城話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaq	ku	
2	低い	hiku	ï	kere	kaq	ku	
3	良い	’jo	—	kere	kaq	ku	
		ï	i	—	—	—	
4	黒い	kuro	ï	kere	kaq	ku	too’i (遠い)
5	高い	taka	ï	kere	kaq	ku	
主な接続形式			{φ}	ba	ta	na’i naru te	
			toki				
			no				
			daroo				

### 3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

#### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形（{φ}接続：言い切り）、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 3.1.1 基本形の場合

/suzusi’i/

(涼しい)

/hiku’i/

(低い)

/’ii/

(良い)

/kuro’i/

(黒い)

/too’i/

(遠い)

/taka’i/

(高い)

##### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusi’itoki/

(涼しいとき)

/hiku’itoki/

(低いとき)

/’iitoki/

(良いとき)

/kuro’itoki/

(黒いとき)

/too’itoki/

(遠いとき)

/taka’itoki/

(高いとき)

##### 3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusi’ino/

(涼しいの)

/hiku’ino/

(低いの)

/’iino/

(良いの)

/kuro’ino/

(黒いの)

/too’ino/

(遠いの)

/taka’ino/

(高いの)

##### 3.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusi’idaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低くいだろう)

/'iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

### 3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/「ば」が接続する場合の活用形である。

/hikukereba/

(低ければ)

/'ikereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

### 3.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/「た」(及び条件の接続助詞 /tara/「たら」)が接続する場合の活用形である。

#### 3.3.1 /ta/が接続する場合

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

#### 3.3.2 /tara/が接続する場合

/suzusikaQta/

(涼しかったら)

### 3.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/「ない」、動詞 /naru/「なる」、接続助詞 /te/「て」が接続する場合の活用である。

#### 3.4.1 /nai/が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

#### 3.4.2 /naru/が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)



/takakunaru/ (高くなる)	/kuroQ/ (黒っ)
3.4.3 /te/ が接続する場合	/tooQ/ (遠っ)
/suzusikute/ (涼しくて)	/takaQ/ (高っ)
/hikukute/ (低くて)	なお、以上の調査語以外にも、次のよう な語の感嘆形がみられる。
/jokute/ (良くて)	/samuQ/ (寒っ)
/kurokute/ (黒くて)	/atuQ/ (暑っ)
/tookute/ (遠くて)	/karaQ/ (辛っ)
/takakute/ (高くて)	/umaQ/ (美味 (うま) っ)
3.5 第5活用形	第5活用形は、感嘆形 ( { φ } 接続 : 言 い切り ) の場合の活用形である。
/suzusiQ/ (涼しっ)	/nigaQ/ (苦っ)
/hikuQ/ (低っ)	/amaQ/ (甘っ)
/iiQ/ (不味 (まず) っ)	/mazuQ/ (不味 (まず) っ)

表 2. くつろぎ場面における茨城話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i		kaQ	ku	Q	
2	低い	hiku	i	kere	kaQ	ku	Q	
3	良い	'jo i	— i	kere	kaQ —	ku —	— iQ	
4	黒い	kuro	i	kere	kaQ	ku	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kere	kaQ	ku	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	ta (★tara)	na'i naru te	{φ}感嘆	

★ tara は、suzusi (涼しい) のみにみられた。

#### 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は両場面で5種類である。

活用形の種類は、TV 場面で4種類、くつろぎ場面で5種類である。

語幹は、「良い」においては両場面とも2種類である。

くつろぎ場面のすべての形容詞に、活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。

### 5. 福島話者

古川 晴子

#### 1. 話者プロフィール

##### 1.1 居住経歴

1989年生

0～18歳 福島県郡山市

18歳～ 神奈川県藤沢市

##### 1.2 育てた人の出身地等

父：福島県郡山市 母：福島県福島市

##### 1.3 言語教育にかかわる特筆事項

特になし

/takai/

(高い)

##### 2.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'jo'itoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

##### 2.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/'jo'ino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

#### 2. テレビ場面における形容詞活用体系

##### 2.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ( { φ } 接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 2.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/'jo'i/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

(高いの)	/hikukunaï/
2.1.4 /daroo/ が接続する場合	(低くない)
/suzusiidaroo/	/jokunaï/
(涼しいだろう)	(良くない)
/hikuïdaroo/	/kurokunaï/
(低いだろう)	(黒くない)
/joïdaroo/	/tookunaï/
(良いだろう)	(遠くない)
/kuroïdaroo/	/takakunaï/
(黒いだろう)	(高くない)
/tooïdaroo/	2.3.2 /naru/ が接続する場合
(遠いだろう)	/suzusikunaru/
/takaïdaroo/	(涼しくなる)
(高いだろう)	/hikukunaru/
2.2 第2活用形	(低くなる)
第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」	/jokunaru/
が接続する場合の活用形である。	(良くなる)
/suzusikereba/	/kurokunaru/
(涼しければ)	(黒くなる)
/hikukereba/	/tookunaru/
(低ければ)	(遠くなる)
/jokereba/	/takakunaru/
(良ければ)	(高くなる)
/kurokereba/	2.3.3 /te/ が接続する場合
(黒ければ)	/suzusikute/
/tookereba/	(涼しくて)
(遠ければ)	/hikukute/
/takakereba/	(低くて)
(高ければ)	/jokute/
2.3 第3活用形	(良くて)
第3活用形は、打ち消しの助動詞 /naï/	/kurokute/
「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞	(黒くて)
/te/ 「て」 が接続する場合の活用である。	/tookute/
2.3.1 /naï/ が接続する場合	(遠くて)
/suzusikunaï/	/takakute/
(涼しくない)	(高くて)

## 2.4 第4活用形

第4活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaqta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

表 1. TV 場面における福島話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	ku	kaQ	
2	低い	hiku	i	kere	ku	kaQ	
3	良い	jo	i	kere	ku	kaQ	kuro'i (黒い) , too'i (遠い)
4	高い	taka	i	kere	ku	kaQ	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	na'i naru te	ta	

## 3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ({φ}接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

#### 3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

#### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/iiitoki/

(良い (いい) とき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)  
3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hikuino/

(低いの)

/iino/

(良いの)

/kuroino/

(黒いの)

/tooino/

(遠いの)

/takaïno/

(高いの)

3.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hikuïdaroo/

(低いだろう)

/ïidaroo/

(良いだろう)

/kuroïdaroo/

(黒いだろう)

/tooïdaroo/

(遠いだろう)

/takaïdaroo/

(高いだろう)

3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」  
が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

3.3 第3活用形

第3活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/  
「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞  
/te/ 「て」が接続する場合の活用である。

3.3.1 /nai/ が接続する場合

/suzusikunaï/

(涼しくない)

/hikukunaï/

(低くない)

/jokunaï/

(良くない)

/kurokunaï/

(黒くない)

/tookunaï/

(遠くない)

/takakunaï/

(高くない)

3.3.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 3.3.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

(黒っ)

/tooQ/

(遠っ)

/takaQ/

(高っ)

なお、以上の調査語以外にも、次のような語の感嘆形がみられる。

/samuQ/

(寒っ)

/'atuQ/

(暑っ)

/karaQ/

(辛っ)

/'umaQ/

(美味 (うま) っ)

/nigaQ/

(にがっ)

/'amaQ/

(甘っ)

/mazuQ/

(不味 (まず) っ)

### 3.4 第4活用形

第4活用形は、助動詞 /ta/ 「た」 が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

### 3.5 第5活用形

第5活用形は、感嘆形 ( { φ } 接続 : 言い切り ) の場合の活用形である。

/suzusiQ/

(涼しっ)

/hikuQ/

(低っ)

/kuroQ/

表 2. くつろぎ場面における福島話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	kere	ku	kaQ	Q	
2	低い	hiku	ï	kere	ku	kaQ	Q	
3	良い	'jo i	—	kere	ku	kaQ	—	
			i	—	—	—	—	
4	黒い	kuro	ï	kere	ku	kaQ	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	ï	kere	ku	kaQ	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	na'i naru te	ta	{φ}感嘆	

#### 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は、TV 場面で 4 種類、くつろぎ場面で 5 種類である。

活用形の種類は、TV 場面で 4 種類、くつろぎ場面で 5 種類である。

語幹は、「良い」において、TV 場面で 1 種類、くつろぎ場面で 2 種類である。

くつろぎ場面に、一部の形容詞を除いて、活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。

## 6. 山口話者

中村衣里

### 1. 話者プロフィール

#### 1.1 居住経験

1988 年生

0～18 歳 山口県山陽小野田市

#### 1.2 育てた人の出身地等

父・母共に山口県山陽小野田市

#### 1.3 言語教育にかかわる特筆事項

特になし

### 2. TV 場面における形容詞活用体系

#### 2.1 第 1 活用形

第 1 活用形は、基本形 ({φ} 接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準

体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

#### 2.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)  
/takai/  
(高い)

2.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusitoki/  
(涼しいとき)  
/hiku'itoki/  
(低いとき)  
/iitoki/  
(良いとき)  
/kuro'itoki/  
(黒いとき)  
/too'itoki/  
(遠いとき)  
/takai'toki/  
(高いとき)

2.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/  
(涼しいの)  
/hiku'ino/  
(低いの)  
/iino/  
(良いの)  
/kuro'ino/  
(黒いの)  
/too'ino/  
(遠いの)  
/taka'ino/  
(高いの)

2.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusidaroo/  
(涼しいだろう)  
/hiku'idaroo/  
(低いだろう)  
/idaroo/  
(良いだろう)

/kuro'idaroo/  
(黒いだろう)  
/too'idaroo/  
(遠いだろう)

/taka'idaroo/  
(高いだろう)

2.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」  
が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/  
(涼しければ)  
/hikusikereba/  
(低ければ)  
/jokereba/  
(良ければ)  
/kurokereba/  
(黒ければ)  
/tookereba/  
(遠ければ)  
/takakereba/  
(高ければ)

2.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」 が接  
続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/  
(涼しかった)  
/hikukaQta/  
(低かった)  
/jokaQta/  
(良かった)  
/kurokaQta/  
(黒かった)  
/tookaQta/  
(遠かった)  
/takakaQta/  
(高かった)



2.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

2.4.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

2.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

2.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

表 1. TV 場面における山口話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaQ	ku	
2	低い	hiku	i	kere	kaQ	ku	
3	良い	'jo i	— i	kere —	kaQ —	ku —	
4	黒い	kuro	i	kere	kaQ	ku	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kere	kaQ	ku	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	ta	na'i naru te	

### 3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

#### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形（{φ}接続：言い切り）、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/'ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

##### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/'iitoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

##### 3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/'iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

##### 3.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低いだろう)

/'iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

#### 3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /tara/ 「たら」、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

##### 3.2.1 /tara/ が接続する場合

/suzusikaQtara/

(涼しかったら)

/hikukaQtara/

(低かったら)

/'jokaQtara/

(良かったら)

/kurokaQtara/

(黒かったら)

/tookaQtara/

(遠かったら)

/takakaQtara/

(高かったら)

### 3.2.2 /ta/ が接続する場合

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

### 3.3 第3活用形

第3活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」 が接続する場合の活用である。

#### 3.3.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

#### 3.3.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 3.4 第4活用語尾

第4活用形は、接続助詞 /te/ 「て」 が接続する場合の活用である。

/suzusikuQte/

(涼しくって)

/hiku'kuQte/

(低くって)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

### 3.5 第5活用形

第5活用形は、感嘆形 (| φ | 接続：言い切り) の場合の活用形である。

/suzusiQ/

(涼っ)

/hikuQ/

(低っ)

/'iiQ/

(良っ)

/kuroQ/	(暑っ)
(黒っ)	/karaQ/
/to'oQ/	(辛っ)
(遠っ)	/umaQ/
/takaQ/	(美味 (うま) っ)
(高っ)	/nigaQ/
なお、以上の調査語以外にも、次のよう	(苦っ)
な語の感嘆形がみられる。	/amaQ/
/samuQ/	(甘っ)
(寒っ)	/mazuQ/
/acuQ/	(不味 (まず) っ)

表 2. くつろぎ場面における山口話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	kaQ	ku	kuQ	Q	
2	低い	hiku	i	kaQ	ku	kuQ	Q	
3	良い	jo i	—	kaQ	ku	ku	—	
			i	—	—	—	iQ	
4	黒い	kuro	i	kaQ	ku	ku	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kaQ	ku	ku	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	tara ta	na'i naru	te	{φ} (感嘆)	

#### 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は両場面で5種類である。

活用形の種類は、TV 場面で4種類、くつろぎ場面で5種類である。

語幹は、「良い」においては両場面とも2種類である。

接続形式 /ba/ を伴う活用形 /kere/ は

TV 場面のみにもみられる。

くつろぎ場面の一部の形容詞活用語尾に、接続形式 /te/ を伴う活用語尾 /kuQ/ がみられる。

くつろぎ場面のすべての形容詞に、活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。

## 7. 福岡話者

日野陽子

1. 話者プロフィール	/hiku'itoki/
1.1 居住経験	(低いとき)
1986年生	/iitoki/
0～18歳 福岡県久留米市	(良いとき)
18歳～ 神奈川県横浜市	/kuro'itoki/
1.2 育てた人の出身地等	(黒いとき)
父：福岡県久留米市	/too'itoki/
母：福岡県久留米市	(遠いとき)
1.3 言語教育にかかわる特筆事項	/taka'itoki/
特になし	(高いとき)
	2.1.3 /no/ が接続する場合
2. TV 場面における形容詞活用体系	/suzusiino/
2.1 第1活用形	(涼しいの)
第1活用形は、基本形（{ φ }接続：言い切り）、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。	/hiku'ino/
	(低いの)
	/iino/
	(良いの)
2.1.1 基本形の場合	/kuro'ino/
/suzusii/	(黒いの)
(涼しい)	/too'ino/
/hiku'i/	(遠いの)
(低い)	/taka'ino/
/ii/	(高いの)
(良い)	
/kuro'i/	2.1.4 /daroo/ が接続する場合
(黒い)	/suzusiidaroo/
/too'i/	(涼しいだろう)
(遠い)	/hiku'idaroo/
/taka'i/	(低いだろう)
(高い)	/iidaroo/
	(良いだろう)
2.1.2 /toki/ が接続する場合	/kuro'idaroo/
/suzusiitoki/	(黒いだろう)
(涼しいとき)	/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

## 2.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/'jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

## 2.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

## 2.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞

/te/ 「て」が接続する場合の活用である。

### 2.4.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

### 2.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 2.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/  
(遠くて)

/takakute/  
(高くて)

表 1. TV 場面における福岡話者の形容詞活用体系

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaQ	ku	
2	低い	hiku	i	kere	kaQ	ku	
3	良い	jo i	—	kere	kaQ	ku	
			i	—	—	—	
4	黒い	kuro	i	kere	kaQ	ku	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kere	kaQ	ku	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	ta	na'i naru te	

### 3. くつろぎ場面における形容詞活用体系

#### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形({φ}接続: 言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。

##### 3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い)

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

##### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/iitoki/

(良いとき)

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

##### 3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

### 3.1.4 /daroo/ が接続する場合

/suzusiidaroo/

(涼しいだろう)

/hiku'idaroo/

(低いだろう)

/'iidaroo/

(良いだろう)

/kuro'idaroo/

(黒いだろう)

/too'idaroo/

(遠いだろう)

/taka'idaroo/

(高いだろう)

## 3.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikusikereba/

(低ければ)

/'jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

## 3.3 第3活用形

第3活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)

/takakaQta/

(高かった)

## 3.4 第4活用形

第4活用形は、打ち消しの助動詞 /nai/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

### 3.4.1 /nai/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikusikuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

### 3.4.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikusikunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/



(黒くなる)  
/tookunaru/  
(遠くなる)  
/takakunaru/  
(高くなる)

/takakute/  
(高くて)

### 3.5 第5活用形

第5活用形は、感嘆形（{φ}接続：言い切り）の場合の活用形である。

#### 3.4.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/  
(涼しくて)  
/hikukute/  
(低くて)  
/jokute/  
(良くて)  
/kurokute/  
(黒くて)  
/tookute/  
(遠くて)

/suzusiQ/  
(涼しっ)  
/hikuQ/  
(低っ)  
/kuroQ/  
(黒っ)  
/tooQ/  
(遠っ)  
/takaQ/  
(高っ)

表 2. くつろぎ場面における福岡話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾					所属語
			1	2	3	4	5	
1	涼しい	suzusi	i	kere	kaQ	ku	Q	
2	低い	hiku	i	kere	kaQ	ku	Q	
3	良い	'jo i	—	kere	kaQ	ku	—	
			i	—	—	—	—	
4	黒い	kuro	i	kere	kaQ	ku	Q	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	kere	kaQ	ku	Q	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	ta	na'i naru te	{φ}感嘆	

#### 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は両場面で5種類である。  
活用形の種類は、TV 場面で4種類、くつろぎ場面で5種類である。  
語幹は、「良い」においては両場面とも

2種類である。

くつろぎ場面において、一部の形容詞を除いて、活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。

## 8. 韓国釜山話者

沈ハナ

- |  |                       |
|--|-----------------------|
| 1. 話者プロフィール  | (低いとき)                |
| 1.1 居住経験   | /jo'itoki/            |
| 1983年生   | (良いとき)                |
| 0～20歳 韓国、釜山市   | /kuro'itoki/          |
| 21～現在 日本、神奈川県川崎市   | (黒いとき)                |
| 1.2 育てた人の出身地等  | /too'itoki/           |
| 父：韓国釜山市 母：韓国釜山市  | (遠いとき)                |
| 1.3 言語教育にかかわる特筆事項  | /taka'itoki/          |
| 21～23歳：日本語学校   | (高いとき)                |
|  | 2.1.3 /no/ が接続する場合    |
| 2. TV 場面における形容詞活用体系  | /suzusiino/           |
| 2.1 第1活用形  | (涼しいの)                |
| 第1活用形は、基本形 (  φ   接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 /daroo/ 「だろう」が接続する場合の活用形である。 | /hiku'ino/            |
|  | (低いの)                 |
|  | /jo'ino/              |
|  | (良いの)                 |
| 2.1.1 基本形の場合   | /kuro'ino/            |
| /suzusii/  | (黒いの)                 |
| (涼しい)  | /too'ino/             |
| /hiku'i/   | (遠いの)                 |
| (低い)   | /taka'ino/            |
| /jo'i/   | (高いの)                 |
| (良い)   | 2.1.4 /daroo/ が接続する場合 |
| /kuro'i/   | /suzusiidaroo/        |
| (黒い)   | (涼しいだろう)              |
| /too'i/  | /hiku'idaroo/         |
| (遠い)   | (低いだろう)               |
| /taka'i/   | /jo'idaroo/           |
| (高い)   | (良いだろう)               |
| 2.1.2 /toki/ が接続する場合   | /kuro'idaroo/         |
| /suzusiitoki/  | (黒いだろう)               |
| (涼しいとき)  | /too'idaroo/          |
| /hiku'itoki/   | (遠いだろう)               |

/takaïdaroo/

(高いだろう)

## 2.2 第2活用形

第2活用形は、条件の接続助詞 /ba/ 「ば」が接続する場合の活用形である。

/suzusikereba/

(涼しければ)

/hikukereba/

(低ければ)

/'jokereba/

(良ければ)

/kurokereba/

(黒ければ)

/tookereba/

(遠ければ)

/takakereba/

(高ければ)

## 2.3 第3活用形

第3活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

### 2.3.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/to'okuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

### 2.3.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 2.3.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

## 2.4 第4活用形

第4活用形は、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

/suzusikaQta/

(涼しかった)

/hikukaQta/

(低かった)

/'jokaQta/

(良かった)

/kurokaQta/

(黒かった)

/tookaQta/

(遠かった)  
/takakaQta/

(高かった)

表 1. TV 場面における韓国釜山話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾				所属語
			1	2	3	4	
1	涼しい	suzusi	i	kere	ku	kaQ	
2	低い	hiku	ï	kere	ku	kaQ	
3	良い	jo	ï	kere	ku	kaQ	kuro'i (黒い), too'i (遠い)
4	高い	taka	ï	kere	ku	kaQ	
主な接続形式			{φ} toki no daroo	ba	na'i naru te	ta	

### 3. くつろぎ場面における形容詞活用定形

#### 3.1 第1活用形

第1活用形は、基本形 ({φ}接続：言い切り)、体言 /toki/ 「とき」、準体助詞 /no/ 「の」、推量の助動詞類 (丁寧) /desjoo/ 「でしょう」が接続する場合の活用形である。

##### 3.1.1 基本形の場合

/suzusii/

(涼しい)

/hiku'i/

(低い)

/ii/

(良い (いいとき))

/kuro'i/

(黒い)

/too'i/

(遠い)

/taka'i/

(高い)

##### 3.1.2 /toki/ が接続する場合

/suzusiitoki/

(涼しいとき)

/hiku'itoki/

(低いとき)

/iitoki/

(良いとき (いいとき))

/kuro'itoki/

(黒いとき)

/too'itoki/

(遠いとき)

/taka'itoki/

(高いとき)

##### 3.1.3 /no/ が接続する場合

/suzusiino/

(涼しいの)

/hiku'ino/

(低いの)

/iino/

(良いの)

/kuro'ino/

(黒いの)

/too'ino/

(遠いの)

/taka'ino/

(高いの)

### 3.1.4 /desjoo/ が接続する場合

/suzusiidesjoo/

(涼しいでしょう)

/hiku'idesjoo/

(低いでしょう)

/'iidesjoo/

(良いでしょう)

/kuro'idesjoo/

(黒いでしょう)

/too'idesjoo/

(遠いでしょう)

/taka'idesjoo/

(高いでしょう)

## 3.2 第2活用形

第2活用形は、打ち消しの助動詞 /na'i/ 「ない」、動詞 /naru/ 「なる」、接続助詞 /te/ 「て」が接続する場合の活用である。

### 3.2.1 /na'i/ が接続する場合

/suzusikuna'i/

(涼しくない)

/hikukuna'i/

(低くない)

/'jokuna'i/

(良くない)

/kurokuna'i/

(黒くない)

/tookuna'i/

(遠くない)

/takakuna'i/

(高くない)

### 3.2.2 /naru/ が接続する場合

/suzusikunaru/

(涼しくなる)

/hikukunaru/

(低くなる)

/'jokunaru/

(良くなる)

/kurokunaru/

(黒くなる)

/tookunaru/

(遠くなる)

/takakunaru/

(高くなる)

### 3.2.3 /te/ が接続する場合

/suzusikute/

(涼しくて)

/hikukute/

(低くて)

/'jokute/

(良くて)

/kurokute/

(黒くて)

/tookute/

(遠くて)

/takakute/

(高くて)

## 3.3 第3活用形

第3活用形は、条件の接続助詞 /tara/ 「たら」、助動詞 /ta/ 「た」が接続する場合の活用形である。

### 3.3.1 /tara/ が接続する場合

/suzusikaQtara/

(涼しかったら)

/hikukaQtara/

(低かったら)

/'jokaQtara/

(良かったら)

/kurokaQtara/

(黒かったら)

/tookaQtara/  
(遠かったら)

/takakaQtara/  
(高かったら)

### 3.3.2 /ta/ が接続する場合

/suzusikaQta/  
(涼しかった)

/hikukaQta/  
(低かった)

/jokaQta/  
(良かった)

/kurokaQta/  
(黒かった)

/tookaQta/  
(遠かった)

/takakaQta/  
(高かった)

### 3.4 その他の活用形

その他の活用形として、次のような感嘆形 (|φ|接続：言い切り) がみられることがあるしかし、本活用形は、調査語においてはみられなかったことから、活用体系上の設定は控えることとした。

/samuQ/  
(寒っ)

/acuQ/  
(暑っ)

/mazuQ/  
(不味 (まず) っ)

表 2. くつろぎ場面における韓国釜山話者の形容詞活用体系表

種類	語	語幹	活用語尾			所属語
			1	2	3	
1	涼しい	suzusi	i	ku	kaQ	
2	低い	hiku	i	ku	kaQ	
3	良い	jo i	—	ku	kaQ	
			i	—	—	
4	黒い	kuro	i	ku	kaQ	too'i (遠い)
5	高い	taka	i	ku	kaQ	
主な接続形式			{φ} toki~tokii desjoo no	na'i naru te	tara ta	

## 4. 形容詞活用体系の場面別傾向

形容詞の種類は、TV 場面で 4 種類、くつろぎ場面で 5 種類である。

活用形の種類は、TV 場面で 4 種類、くつろぎ場面で 3 種類である。

語幹は、「良い」においては TV 場面で 1 種類、くつろぎ場面で 2 種類である。

形容詞活用体系調査語にはみられなかつ

たが、くつろぎ場面において、一部の形容詞に活用語尾 /Q/ の感嘆形がみられる。

\*本研究は、日本私立学校振興・共済事業団特別補助対象共同研究「日本語・日本文化の発信・受容・変容に関する基礎的研究」(研究代表者：齋藤孝滋) 2007 年度成果報告である。